

No.	002	—	2001	事務事業名	交通安全対策事業			細事務事業名				公的関与	1
PLAN	課名	危機管理課		係名	防災安全係		電話番号	089-964-4483		メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実			主要施策	(2)交通安全意識の高揚			
	事業の対象	市民					根拠法令						
	事業の目的	最終的	交通安全は、国民、県民、市民全員の願いであり、これをあらゆる角度から啓発し、交通安全対策を図ります。					今年度	道路交通事故のない東温をめざして、子どもと高齢者を中心とした交通安全思想の普及啓発を図ります。				
	活動内容	①	交通安全指導員による街頭啓発活動及び交通安全教室、自転車教室					④					
		②	松山南交通安全協会支部による街頭啓発活動及び交通安全講習会の実施					⑤					
		③	高速道路交通安全協議会による交通安全啓発										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
		街頭啓発	春・秋・年末の交通安全週間等での交通安全啓発運動			回	目標	30	30	30	30		
			実績	30	26								
交通安全県民大会		交通安全県民大会への参加者数			名	目標	50	50	50	50			
					実績	45	50						
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費			
	直接事業費			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		4,602 千円	5,211 千円	5,878 千円							
	計(A)		4,602 千円	5,211 千円	5,878 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.771 人	4,698 千円	0.771 人	4,636 千円	0.771 人	4,643 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		9,300 千円		9,847 千円		10,521 千円						
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	交通安全対策は行政の責務であり、県下関係機関と連携した事業を展開する必要があります。												
有効性	公共にしかできない事業であり、事業内容も適切です。												
達成度	平成26年度は、市内で1件の交通死亡事故が発生しています。平成25年度より2件減少していますが、交通安全意識の啓発に更に努める必要があります。												
効率性	適切なコストで実施しています。												
当面の課題	必要な事業であり、常に内容を見直し、時代に即した住民ニーズを取り込んだ活動が必要です。												
改訂計画	「東温市交通安全計画」に基づき、関係機関・団体等と連携して交通事故のない東温を目指します。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	「東温市交通安全計画」に基づき、市内での「交通死亡事故ゼロ」500日の継続を目標に、関係機関・団体等と連携した取り組みを続けてください。												

No.	002	—	2009	事務事業名	高齢者交通安全指導事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	危機管理課	係名	防災安全係	電話番号	089-964-4483	メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	20年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実		主要施策	(2)交通安全意識の高揚				
	事業の対象	市内に住所を有する75歳以上の者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	高齢者の交通死亡事故の減少への取り組みとして、専門の指導員が高齢者世帯を訪問し、交通事故防止の助言及び啓発グッズ等の配布を行い、本市から高齢者の交通死亡事故をなくします。併せて、防災・防犯対策の意識啓発活動も行います。			今年度	前年度に引き続き、高齢者を訪問し全対象世帯への啓発をめざします。						
	活動内容	①	交通安全アンケートの実施			④	交通危険箇所等の情報収集						
		②	交通安全に関する資料の配布と説明			⑤	防犯対策及び防災・減災に関する指導、避難場所等の確認						
		③	反射材等の配布、交通相談										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終目標			
		訪問面談実施率		全対象者への啓発指導を目指します。 (訪問世帯数/対象世帯数)		%	目標 100	100	100	100			
					実績 1	1							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務			費				
	直接事業費		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	2,860千円	2,980千円	3,661千円								
	計(A)	2,860千円	2,980千円	3,661千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.040人 244千円	0.040人 241千円	0.040人 241千円								
		臨時職員工数・経費	1.477人 2,781千円	1.477人 2,870千円	1.477人 2,840千円								
	全体事業費(A+B)		5,885千円	6,090千円	6,742千円								
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	高齢者の交通事故が多発しています。交通安全指導はもちろん、防災・防犯対策についても指導していく必要があります。												
有効性	事故発生件数、負傷者・死者数のいずれもが概ね減少傾向にあり、事業の継続は有効と考えています。												
達成度	訪問班体制の変更や、対象世帯数の増加により、全世帯への訪問が完了していません。未訪問者への訪問啓発が必要です。												
効率性	交通安全・防災・防犯等、より総合的な高齢者指導の実施を検討します。												
当面の課題	平成25年度から訪問体制を2班体制から1班体制にしたことで、期間内における訪問件数が減少しました。												
改訂計画	訪問によるアンケートの結果や交通事故等の発生状況を踏まえ、今後の訪問指導内容を充実させます。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	引き続き、訪問指導100%を目指して推進してください。訪問先では、高齢者の交通安全や防災・減災等への取り組み、詐欺被害の減少等に関する意識啓発に努めてください。												